

情報をもとに考えをまとめて書こう(6年)

## 社会に目を向けて

### 指導目標

身近なできごとや社会的問題に関心をもったことを，目的や意図を明らかにし，情報を整理して考えをまとめ，事象と感想や意見を区別して文章を書く。

身近なできごとや社会的な問題に関心をもったことを，情報を整理して考えをまとめ，意見文を書く。

### 教材について

本教材の書くことの学習「意見文を書こう」は，5年生の学習「情報を整理して書こう」を受け，必要な情報を集め，整理し，事実と意見を区別しながら書くことを目標としている。さらに，6年生では，その学習をもとに，社会的な問題に関心をもち，情報を整理し，それに自分の考察を加えて他者に発信する意見文を書くことが目標となる。

そこで，本実践では，以下のことに留意し，指導にあたることとする。

#### (1) 新聞の活用

社会的な問題に関心をもたせるために，新聞を活用する。児童に身近な社会的問題を考えさせるために新聞の地方面の記事を読ませ，関心のあるものは何か探させる。また，読者からの投書のページも紹介し，事実と意見を区別しながら読ませることで，意見文の特徴と他者に発信すること，読み手にわかりやすい意見文を書くことの意欲を高めさせたい。4月からつくってきた「創作ノート」も見直させることで，学校の中などの身近な物事にも目を向けさせたい。少しでもよくしたい，こうなるべきだという自分の意見がもちやすいように，できるだけ身近な社会問題をとらえさせるようにしたいと考えた。

#### (2) 話し合いによる課題の深め合い

児童一人一人がテーマを決めたあとで，グループで話し合い行う。友達の考えを聞いたうえで，自分の意見を明確に決めさせたいと考えた。課題が決まり，情報を集めても，それをただ書き写すことにならないように，友達の意見も参考にして，自分のいちばん伝えたい意見を決めることとした。そうすることで，構成表に書く自分の意見を明確にし，意見文を書くうちに，考えがまとまらず，意見が不明確にならないようにしたいと考えた。

#### (3) 読み合いによる文章表現力の高め合い

下書きを書き終わった児童どうしで意見文を読み直す活動を取り入れる。事実と意見を区別して書いているか評価し合うだけでなく，読者の視点から読みやすく，わかりやすい記述や表現になっているかも評価し合う。下書きを児童が回し読みし，良い点と改善点を書かせる。友達の意見を清書に生かして書くことで，自分の推敲で気づかなかった点を直し，効果的な書き方で書かせたいと考えた。

#### (4) グループによる話し合い

書き終わった意見文をグループで読み合い，話し合うことで，自分の考えを他者に発信するという目標の明確化を図りたい。友達だけでなく課題に関係する人にも読んでもらい，感想を聞く。

### 学習指導計画（全8時間）

展開・時		過程	学習活動	留意点、評価規準及び方法
一	第1時	課題をつかむ・イメージをもつ	新聞の投書を読み、意見を発信する学習を行うことを知る。 『社会に目を向けて』を読み、学習活動の見通しをもつ。 小笠原さんの見つけた課題の調べたことについて整理する。	意見文を書き、他者へ向かって発信する学習をすることを意識づけさせる。 <b>関</b> ：単元の目標を理解し、学習意欲や見通しをもとうとしている。（態度）
	第2時		小笠原さんの意見文を読み、調べたこと、友達の意見から気づいたこと、考えたことがどこにどのように書かれているか読み取り、自分が意見文を書くときの参考にする。	意見文を読み、事実と意見にサイドラインを引きながら区別する。 <b>読</b> ：意見文の書き方や参考にしているところをつかんでいる。（態度・発表）
二	第3時 第4時	情報収集・表現の工夫・表現を高める	自分の調べたい課題を決め、小笠原さんの方法を参考にしながら、必要な情報を集める。	創作ノートや新聞、図書、インターネットなどを調べたり、関係者に質問したりして、自分の課題に必要な資料を集めさせる。 <b>関</b> ：決めた課題について、意欲的に資料を集めようとしている。（態度） <b>書</b> ：調べたことを整理し、自分の意見を、ノートにまとめている。（ノート）
	第5時		情報を整理し、友達と話し合う。 ・事実 ・意見や考え	ノートにまとめた自分の課題と意見や考えを友達と話し合い、自分の意見を明確にさせる。 <b>話聞</b> ：友達の意見をノートにまとめ、自分の意見を決める。（話し合い）
	第6時 （本時）		友達と話し合ったことも振り返りながら、意見文を書くための構成表を作成する。 ・事実 ・構成 ・意見や考え	調べたこと、自分の意見、話し合いの内容を構成表を書かせる。 <b>書</b> ：事実と意見を区別し、意見文の構成を考え、構成表を書いている。（構成表）

第7時		構成表をもとに，事実と意見や感想を区別しながら，意見文を書く。	構成表をもとに，事実と意見を区別し，読み手にわかりやすい意見文を書かせる。 <b>書</b> ：構成表を生かして，自分の考えや意見を明確にした意見文を書いている。（作品）
第8時	交流・振り返り	書きあがった意見文を発表し合う。 意見文を関係する人に読んでもらい感想を聞く。	グループで意見文を読み合い，友達の意見文の工夫や意見や考えについて話し合わせる。 <b>読</b> ：友達の意見文の事実と意見の書き分けに注意して読んでいる。（発表） <b>書</b> ：友達の感想から，自分の意見文を振り返り，次に書くときに生かそうとしている。（態度）

## 本時の展開（本時6 / 8）

### 目 標

- ・調べたことや友達の考えと自分の意見や考えを対応させて構成表を書くことができる。
- ・構成表に書いた事実や自分の意見や考えをもとに，構成の工夫を考えることができる。

### 資料 構成表

### 展開例

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	評 価 ・ 支 援
1 本時のめあてを確認する。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                     調べたことと自分の意見を対応させ，意見文の構成を考えて，構成表を書こう。                 </div>		
2 構成表の書き方を確認する。 ・課題，自分がいちばん伝えたい意見を一文で書く。 ・事実（調べたことや友達の意見など）を書く。 ・それに対する自分の考えや意見があれば，それに対応させて書く。	教師が構成表を書きながら，説明をする。 自分の意見の結論を簡潔に一文でまとめさせる。 前時までに調べておいたことを，簡潔に書き写させる。 事実（調べたこと，友達の意見など）と，それに対する自分の意見や考えを，対応するように書かせる。	前時の話し合いを生かすようにさせる。 自分の意見と違った友達の意見は，調べたことに書かせる。 友達の意見を聞き，自分の考えが

<p>3 構成表から構成を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書く順番を決め，番号を付ける。</li> <li>・読み手を引きつけるような意見文になるように順番を考える。</li> </ul>	<p>自分の意見や考えは，理由などもつけて詳しく書かせる。</p> <p>意見文の題は，意見文を書き終わった後に決めてもよいことにする。</p> <p>結論は，最後になるように順番を付けさせる。</p> <p>時間の流れのとおりになくてもよいことを確認する。</p>	<p>変化したときは，なぜ変わったのか自分の意見や考えの欄に書かせる。</p> <p><b>書</b>：事実と意見を対応させ，意見文の構成を考え，構成表を書いている。（構成表）</p>
<p>4 次時の学習を確認する。</p>	<p>構成表をもとに，事実と意見を区別しながら意見文を書いていくことを確認する。</p>	

構成メモ（組み立てメモ）

名前（ ）

課題	いちばん言 いたいこと	順番
		事実（調べたこと、人の行動）、友達の考え
題		自分の意見や考え